

顛末書

名 称	第2回 お出かけ市長室～市長と語ろう！まちづくり意見交換会～
日 時	令和6年7月25日（木） 19：00～20：30
会 場	豊田公民館 2階 第1・第2・第3会議室
出席者等	・中野市長 湯本 隆英 ・一般参加者 20名 ・総合計画策定支援業務 委託業者 2名 ・事務局：4名 計 27名
次第	1 開 会 2 第3次中野市総合計画・前期基本計画の策定に向けて 3 市長講演 4 意見交換 5 その他 6 閉 会
発言内容	別紙のとおり

会議状況



別紙 発言内容（意見交換部分のみ）

Q 消防から防火水槽内の泥の廃棄場所を区で見つけてほしいと言われたが、市で対応してほしい。

A 消防課に早急に検討するように指示した。

Q 防災行政無線で火事があった誤放送があった。住民が不安に思うので困る。

A 間違いのない確実な放送に努める。

Q 知名度向上のため、「中野市といったらこれ」というシビックプライドの醸成が必要。また、SDGsの未来都市を取るべき。

A 「これが中野市だ」というものがあるはずだが、今のところ多面的に必要な部分を変えながら中野市を出している。前向きに考えていきたい。

Q 気候変動対策に本気で取り組んでほしい。

A 意見としてお聞きする。

Q 人口減少対策のため、移住者支援の充実が必要。具体的に何を行っていく予定か。

A 重点施策3で地域おこし協力隊や、空き家対策等、4点あげている。観光、スポーツ、文化振興等、他との違いを出していくのが1番と考える。

Q 地域を振興させるという中で、ふるさと回帰プロジェクトを行っている。移住者が増えれば空き家も少なくなってくると感じているがいかがか。

A 遊休荒廃地について、中野市に来て農作業体験をしていただくという取組が少しずつ進んでいる。また、空き家もアンケートを取りながら、活用できるものは活用していく方向でいるので、ご協力いただきたい。子育て、文化、産業振興など、全体的に行わないと移住者を増やすことが難しいと考えるが、全体を回すことにより移住者を増やしていきたい。

Q ふるさとパークの芝生部分に東屋を建ててもらいたい。

A 意見としてお聞きする。

Q R5出生数が210人ということで少子高齢化が避けられないが、学校の統合ありきではなく、少ないなりの良さを生かした学校経営の進め方も大事だと考える。

A 現状、学校統合の話は机上に上がっていない。少人数の学校の子ども達とも話をしたが、アットホームで少ないなりの良さもあると感じた。ただ、進学して社会に出たとき、心配な点もある。教育委員会と今後も検討していきたい。

Q 学校で市費の先生の増員していただきたい。

A 市費職員は他と比べると手厚く出しているので、要望としてお聞きする。

Q 旧豊井小学校で止まっている堤防をもう少し伸ばしてほしい。

A 千曲川河川事務所と話しながらかできることはやっていく。

Q 豊田支所の信号のところ、右折しづらいので、矢印が出る信号機にしてほしい。

A 警察署に申し入れはしておく。

Q 令和6年11月4日の痛車のイベントで、信州なかのちゃんの声優の飯野美紗子さんをゲストとして呼んでほしい。

A 要望としてお聞きする。

Q 市長が構想されていることを計画に落とし込むべき。

A 意見としてお聞きする。

Q ゴルフ場のところに枝が出ており、冬になると雪の塊が落ちて危険。早急に対応してもらいたい。

A 場所を教えていただければ、雪が降る前に所有者、その他お調べする。

Q 今まで産業関連分析で、どこに重点を置いたらどれくらいの波及効果があるかということを検証してきたか。

A 内容を確認する。